



青南だより

令和5年 1月号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

<コロナとの共存>

あけましておめでとうございます。

3年ぶりに行動規制のない年末年始となりました。年末の保護者会では、大勢の保護者の皆さんに向けて直接お話することができ、感無量でした。今年はさらにコロナとの共存の方法を模索していくことになりそうです。手洗いの励行、マスクの着用、そして黙食はもうしばらく継続していく予定です。朝の検温や健康カードの提示、定刻内の登園は、安全・安心な集団生活と園運営の基本となります。皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

<自然と共に暮らす日々>

今年は卯年です。幼稚園のみみくんは例年にも増して注目を浴びることになるでしょう。かめたろうもみんなで分担協力して世話をし、可愛がってあげたいと思います。

年長児が置き場所などを様々に試しながら観察してきたヒヤシンスも、順調に育っていて開花が楽しみです。園庭のカエデは2学期末になって急に葉を落とし始めました。この木の特徴は、一本の枝、葉でも様々な色合いが混在しているところです。見る角度や時間によっても多様に見えるところが魅力です。



垂れた耳が魅力のみみくん、今年もよろしく！



白い園舎に鮮やかな紅葉が映えますね



一枚として同じ色がない多様性に満ちた落ち葉

<環境を整えて>

年末には、子どもたちと大掃除をしました。冬休みの間、倉庫などの整理やペンキ塗り、畑や土工場の整備なども行いました。子どもたちも園内を自分たちの場として使いこなしてきていますので、環境整備の成果によって活動の幅が広がり、人や物との関わりが楽しめるようになったらすてきです。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



2階のテラスから見下ろすとこの鮮やかさ！

・・・睦月(むつき)・・・

青南の
二十四節気

小寒(6日) … 青く澄んだ空に冷たい風が吹きます …

大寒(20日) … 厳しい寒さに氷や霜柱が見られる日も …

カエデは、最終週になって葉が散り始め、落ち葉のじゅうたんのようになり始めていました。東京の冬は乾燥が激しく、毎年、わくわく池の水が目に見えて減っていきます。年末には水を補充しておきましたが、年明けにはどうなっているか、どちらも楽しみです。

冬本番を迎えています。氷や霜柱、雪などはタイミングを逃しては見ることも触れることができません。その際には少しでも関わりがもてるようにしていきますので、身支度などのご協力をお願いします。



少し角度を変えただけで色合いが変わります
木の下には集めた落ち葉が山盛り…